

単元名 中学校生活の見通しをもちょう！

(スタートプロジェクト)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	
	B【社会参画に関する資質能力】	○中学校1年間を通して、自分が目指す姿や身に付けたい力を確認し、その実現に向けて取り組みたいこと・意識したいことを表現できる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○個人での目指したい姿や身に付けたい力を発表し合い、学年全体で目指す姿や身に付けたい力を具体化することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○1年後にどのような自分になっているか、そのためにはどのような力を身に付けているかを想像することができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・ワークシートに、1年間で取り組む行事や活動を具体的に記入している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ☆好奇心・探究心	・1年間の行事・活動を踏まえ、ワークシートに、1年間を通して目指したい姿や身に付けたい力を記入している。
	5 ☆困難を解決しようとする心	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	・1年間の行事・活動を通して目指したい姿や、それに向けて身に付けたい力について伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ☆他者受容	
D 関自律的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	・1年間の行事・活動を通して目指したい姿や、それに向けて身に付けたい力について記述しようとしている。
	3 ☆自己肯定感	

単元の指導

(全 3 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
4	中学校生活の見通しを待とう！	計画する 見通しを持つ	1	○中学校生活の主な活動や行事についての把握 ・年間行事予定表を見て、月ごとの行事について確認する。	【学活 進路】	・B1 ☆見通す力 (チェックリスト)
4		1	○進級までに目指す姿・身に付けたい力の具体 ・目指す先輩像を個人で記入する。 ・目指す先輩像をグループで話し合う。 ・目指す先輩像を学級で共有する。		・B4 ☆好奇心探求心 (チェックリスト)
4		実施・改善	1	○具体的な方法等についての話し合い ・目指す姿・身に付けたい力の実現に向け、意識することや取り組むことを個人で考える。 ・目指す姿・身に付けたい力の実現に向け、意識することや取り組むことをグループで考える。		・C1 ☆伝え合う力 ・D2 創出する力 (個人内評価)
時数計			3	時間		

単元名

調査活動に向けた準備をしよう！

(第 1 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○話し合い等を通して、住田町で活躍している人物・住田町で有名な企業・住田町の地域資源等に、改めて確認することができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○話し合い等を通して、調査した内容を発表する方法について見通しを持った上で、自分が興味・関心のある調査対象を理由を持って選択することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○話し合い等を踏まえ、調査した内容を発表する相手について見通しを持つことができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○話し合い等の際に、小学校で学習した経験が活かされていることを実感することができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・話し合い等を通して、住田で活躍している人物・住田町で有名な企業・住田町の地域資源等について、改めて確認する。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・話し合い等を通して、調査した内容を発表する方法について見通しをもちとしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	・話し合い等を踏まえ、自分が調査したい対象を、理由を持って選択しようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	・話し合い等を踏まえ、調査する相手を具体的に想定し、一年間の活動の見通しをもちとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	
D 関自律的活動に関する資質能力に	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	・話し合い等の際に、小学校で学習した経験が活かされていることに気づこうとしている。

単元の指導

(全 5 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
5	オリエンテーション	問題の理解 現状把握	1	<ul style="list-style-type: none"> ○地域創造学の目的・一年間の見通しの把握 ・小学校で行ってきた地域創造学を振り返る。 ・中学校での地域創造学の目的を確認する。 ・1年間を通してどのようなことをするのか見通しをもつ。 	【特別活動 学習活動】 【国語 情報の集め方を知ろう】	<ul style="list-style-type: none"> ・B1 ☆見通す力 ・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
5	調査活動に向けた準備をしよう！	問題の理解 現状把握	1	<ul style="list-style-type: none"> ○住田で活躍している人物や企業、住田町の地域資源の把握 ・小学校までの活動を振り返り、住田町で活躍する人や企業、住田町の地域資源を確認する。 ・住田町で活躍する人物や企業、住田町の地域資源の特徴を共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・A ◎地域理解 ・D3 ★自己肯定感 (個人内評価)
5		課題への気づき	1	<ul style="list-style-type: none"> ○発表相手・発表方法の想定 ・調査した内容を誰に伝えたいか、発表相手を具体化する。 ・発表相手に適した発表方法を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・B4 ★好奇心・探究心 (チェックリスト)
6		課題設定	2	<ul style="list-style-type: none"> ○調査する対象(人物、企業、地域資源など)の決定 ・希望をとる。(理由も記入) ・対話を通して、グループを編成する。(1グループ3人) 		
時数計			5	時間		

単元名

調査をしよう！

(第 2 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、改めて気づくことができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査(第一回)の項目・方法の成果・課題を明らかにし、より良い調査項目・方法を選択することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○他者からのアドバイスを踏まえ、自分達の調査の項目・方法の成果と課題を具体的にあげることができる。
	D【自立的活動に関する資質能力】	○自分達の調査項目・方法の成果と課題を明らかにし、課題を改善するためのアイデアを提案することができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、調査等を通して改めて気づき、プリント等にまとめようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査(第一回)の項目・方法の成果・課題を明らかにしようとしている。
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	・住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査(第一回)の振り返りを踏まえて、より良い調査項目・方法を選択しようとしている。
C 関人す間関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	・他者からのアドバイスを踏まえ、調査(第一回)の項目・方法の成果と課題を具体的にしようとしている。
D 関自律的資質活動に力	1 ☆感じ取る力	・自分達の調査項目・方法の成果と課題を明らかにし、課題を改善するためのアイデアを提案しようとしている。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	

単元の指導

(全 23 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
6 7		情報収集	2	○調査する方法(インタビュー、フィールドワーク、文献調査など)の決定 ・専門家から、調査する方法などを学ぶ。 ・調査する方法を決定する。	【特別活動 学級活動】 【国語 話すこと 聞くこと】	・C3 ★他者受容(チェックリスト)
		計画する 見通しを持つ	3	○調査(第一回)に向けての準備 ・交通手段等を確認する。 ・質問事項などをまとめる。 ・インタビュー等が必要な場合、アポイントをとる。 ・質問練習をする。		
7 8	調査をしよう!	実施・改善	4	○調査(第一回)の実施 ・実際に調べる。 ・振り返りをする。		・A ◎地域理解(個人内評価)
8 9	調査の成果と課題を明らかにしよう!	まとめ 振り返り、問題の理解 現状把握	4	○中間報告に向けての準備 ・発表資料を作成する。 ・発表練習をする。		・B2 ☆多面的・多角的に考える力 ・B5 ☆困難を解決しようとする心 ・D1 ☆感じ取る力(ルーブリック)
9		問題の理解 現状把握	3	○中間報告の実施 ・発表する。(相互交流含む) ・振り返りをする。		
9	調査内容を深めよう!	計画する 見通しを持つ	3	○調査(第二回)に向けての準備 ・調査(第一回)の成果・課題をふまえ、調査対象・項目・方法を決定する。 ・調査に向けた準備をする。		
10		実施・改善	4	○調査活動(第二回)の実施		・A ◎地域理解(個人内評価)
時数計			23	時間		

単元名

調査したことを発表しよう！

(第 3 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町で活躍する人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、まとめることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○発表する相手を具体的に想定し、その相手に適した内容と方法を吟味・選択し、発表することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○発表する相手を具体的に想定し、調べた内容や気づいたことを伝えるための資料を作成することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○ポートフォリオの編集を通して、自身の成長を実感したり、次年度に向けての意欲を高めたりすることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・報告会に向けて、住田町で活躍する人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、まとめようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・発表する相手を具体的に想定し、その相手に適した内容と方法を吟味・選択し、発表しようとしている。
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	・調べた内容・気づいたことを発表するために、各自の役割を明らかにし、その役割を果たそうとしている。
	3 ★他者受容	
D 自律的活動に力	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	・発表する相手を具体的に想定し、調べた内容や気づいたことを伝えるための資料を作成している。
	3 ★自己肯定感	・ポートフォリオの編集を通して、自身の成長を実感し、次年度に向けての意欲を高めようとしている。

単元の指導

(全 15 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
1 0 5 1 1	調査したことを発表しよう！	課題への気づき 課題設定	1	○発表する相手・方法の確認 ・想定外なアイデアが提案された際には協議し選択する。	【特別活動 学級活動】	・C2 ☆協働する力 (チェックリスト)
		実施・改善	10	○発表資料の作成 ・発表内容を焦点化する。 ・発表資料を作成する。 ・学級で発表し、改善点を指摘し合う。 ・資料の修正を図る。 ・発表練習をする	【国語調べたことを報告しよう】	
			3	○発表 ・調査した内容を発表する。(質疑を含む)		・B3 ☆提案・発信する力 ・D2 ☆創出する力 (ルーブリック)
			1	○振り返り ・ポートフォリオを編集する。 ・資料を取り外す理由や、資料を残す理由を記入する。		D3 ☆自己肯定感 (ポートフォリオ編集)
1 1 5 2		まとめ 振り返り				
時数計		15	時間			

単元名 住田町でおこる自然災害の特徴や、防災・減災の工夫を学ぼう！

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○活動を通して住田町ではどのような災害の可能性があるのかを理解することができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○調査を通して、住田町で起こり得る災害の特徴や、防災・減災の工夫について積極的に学ぶことができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○地域の防災から、地域の復興に携わる人の思いや願いを共感的に受け止めることができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○防災学習の意義を見出すことで、次年度の取組について意欲を高めることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・活動を通して、住田町で起こる自然災害の特徴について理解を深めている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	
	4 ★好奇心・探究心	・調査を通して、住田町で起こり得る災害の特徴や、防災・減災の工夫について積極的に学ぼうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人する関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	・調査活動を通して、地域の防災や復興に携わる人の思いや願いを共感的に受け止めている。
D 関自律的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	・防災学習の意義を見出し、次年度の防災学習への取組について意欲を高めている。

単元の指導

(全 6 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
11	住田町でおこる自然災害の特徴や、防災・減災の工夫を学ぼう！	西暦の理解 逆状記憶・課題への計画力 課題設定	1	○防災学習の目的の把握	【理科 地学】 【社会 地理的分野】	
11		情報収集	1	○身近な地域で起こり得る自然災害についての理解		・A ◎地域理解 (個人内評価)
11		実施・改善	3	○地域の実態に応じた防災に関する調査活動 R2: 有住中学校は、森林学習の事前学習も兼ねて実施(1時間) 世田米中学校は、陸前高田市や世田米のフィールドワークを実施(3時間)		・B4 ★好奇心・探究心 (個人内評価) ・C3 ★他者受容 (チェックリスト)
11		まとめ 振り返り	1	○振り返り ・調査を踏まえ、自然災害から身を守る心得等について改めて考える。 ・防災学習に関するポートフォリオを編集し、成果・課題を確認し、次年度に向けた見直しを持つ。		・D3 ★自己肯定感 (ポートフォリオ編集)
時数計		6	時間			

単元名 自分たちの成長を確認しよう！

(進級プロジェクト)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	
	B【社会参画に関する資質能力】	○1年間を通して成長したこと・身に付いた力を、同級生や小学生に表現できる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○1年間を通して成長したこと・身に付いた力を発表し合い、学年全体での成果や課題を具体化することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○1年間の活動を通して成長したことや身に付いた力を確かめ合い、来年度へどのように活かすか考えることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	
	3 ☆提案・発信する力	・1年間の活動を通して成長したことや身に付いた力を、同級生や小学生に発表している。
	4 ★好奇心・探究心	
	5 ★困難を解決しようとする心	
C 関人す間関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	・1年間の行事・活動を通して成長したことや身に付いた力などを、同級生や小学生に伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	
	3 ★他者受容	
D 関自律的活動に関する資質能力に	1 ☆感じ取る力	・ワークシートなどに、1年間の行事・活動を通して成長したことや身に付いた力などを記入している。
	2 ☆創出する力	
	3 ★自己肯定感	・話し合い活動を踏まえて、1年を通して身に付いた力や、入学時と比べて成長したことなどを確かめている。

単元の指導

(全 3 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
1	自分達の成長を確認しよう！	問題の理解 現状把握	1	○1年間の活動の振り返り 1年間で取り組んできたことを確認し合い、成長したことや身に付いた力などを確認し合う。	【国語 話すこと 聞くこと】 【特別活動 学級活動】	・D3★自己肯定感、 ・D1 ☆感じ取る力 (個人内評価)
2		目標への気づき、課題設定、計画する、見直しを行う	1	・小学生に1年間を通して成長したことや身に付いた力をどのように伝えたいか話し合う。		・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
2		実施・改善	1	・小学生に1年間を通して成長したことや身に付いた力を発表する。		・B3 ☆提案・発信する力 (個人内評価)
時数計			3	時間		